

## 第2回 結核ゆかりの地ツアー ～新山手病院・保生の森～

緑が豊かで空気が清らかな東村山市、清瀬市の周辺には、サナトリウム療法時代の結核患者専門の療養所が集中して建てられ、貴重な結核治療の文化・歴史を今に残しています。ツアーでは、「東洋一の規模のサナトリウム」と呼ばれ、『となりのトトロ』のメイちゃんのお母さんが結核を患って入院した病院のモデルであるかつての「保生園」、現「新山手病院」をめぐる。療養生活や、当時は7000人の登録があった世界でも珍しいといわれる退院した結核患者の会「保生会」のお話しなど、当時を知るのに貴重なお話しを伺います。また当時の結核対策、治療をリードしておられた島尾忠男先生によるお話しは、日本は「亡国病」とまで言われた結核を克服した経験を持ち、その経験が現代に生きていることへの理解を深めます。

場 所： 新山手病院・保生の森

日 程： 2015年5月19日（火） 13:00～16:00

集 合： グリューネスハイム新山手前

### ●スケジュール

司会： STBJ代表理事・事務局長 田中慶司

13:00-

第1部： 散 策

挨拶： 森 亨 結核研究所名誉所長・STBJ代表理事

新山手病院・保生園周辺散策： 案内とお話し 保生会会長 大場 昇

14:20-

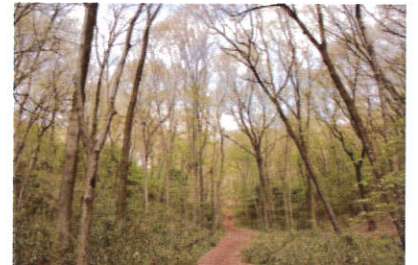
第2部： 講 演（グリューネスハイム新山手集会室）

挨拶： 渋谷金太郎 清瀬市長

1. 「保生園」での療養生活 新山手病院医師 小形清子
2. 映画「再起への道」 -肺機能訓練療法
3. 結核予防会創立と保生園 結核予防会顧問 島尾忠男
4. 退院した結核患者の会「保生会」について 保生会会長 大場 昇
5. 新山手病院での結核治療の現状 新山手病院院長 江里口 正純、副院長 井上ゆづる



結核予防会保生園（現新山手病院）



八国山緑地 ◎狭山丘陵の都立公園にきてみて

### ネパール大地震への義援金のお願い

今回の地震により、医療サービスの復旧が緊急を要しています。

結核予防会では、予防会が技術、資金協力をして設立したカトマンズにある JANTRA (DOTS の提供などを行う NGO) や、ネパール 35 地域で活動する NATA (患者支援などを中心に行っている NGO) に対して、結核対策が再開されるように支援をします。1960 年代、ネパールの結核問題に最初に手を差し伸べたのは日本で、以来、結核予防会は、ネパールの結核対策に貢献してきました。結核予防会国際研修のネパール人卒業生は 99 人 (2014.5) にもものぼり、その交流は続いています。

### STBJ ネパール震災義援金受付口座

三井住友銀行 神保町支店 (店番号 001) 普通 口座番号 2115284

※ お預かりしました義援金は、結核予防会を通じてネパール結核予防会 (NATA)、現地 NGO (JANTRA) へ結核対策を中心とした医療サービス復旧のための緊急支援として使用されます。





# 退院した結核患者の会 「保生会」について

保生会会長 大場 昇

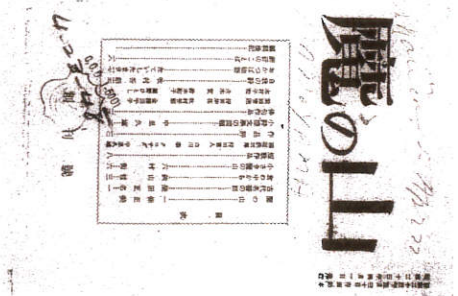


164	菅田 昭子	200X	切 切	山形県 西田町-017	
165	廣 谷 光 隆	20V	切 切	山形県 西田町-247	
166	橋 田 五 二	25V	切 切	山形県 西田町-136	住 跡 方
167	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
170	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
171	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
172	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
173	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
174	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
175	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
176	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
177	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
178	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
179	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
180	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
181	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
182	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
183	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
184	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
185	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
186	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
187	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
188	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
189	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	
190	菅 田 昭 子	20V	切 切	山形県 西田町-017	

## 「保生会」～退院患者の会～

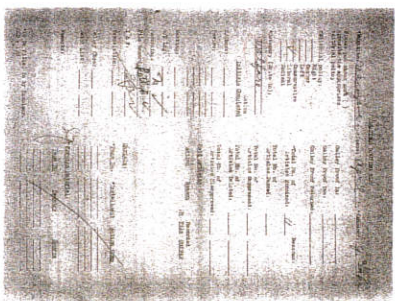
- ① 意義 日本で唯一(?)の療養所を退院した患者の会
- ② 創立 昭和30年(1955) 今年60周年  
退院者の実情調査で再発防止と新患の減少が目的
- ③ 活動 春・秋の健診(総会を兼ねる)2～300人参加  
会員名簿の作成(昭和33年版藤沢周平の例)  
185 小菅留治 28X II 相 切 山形の住所 教員  
会誌「保生」を年1回会員に発送(病院と幹事の編集会議)  
保生会事務局あり 局長と事務2名(保生園最大の行事)  
昭和30年代は会員7000人 名簿300ページ  
秩父宮妃「院長はやめても保生会の仕事は続けるように」  
会員より 患者送迎バス 初のCT 桜の樹100本

※最後の総会新聞記事



## ④ なぜ保生園にだけ退院患者会が誕生したか?

- 予防会・病院側の熱意(定期健診の実施)家族的な雰囲気
- 久留先生の求心力 時の入院患者にリーダー何人もいた
- 悲田処・国宝の運伝子(?)
- ⑤ 保友会 入院患者の会はこの療養所にもあった  
昭和21年発足



CENSORSHIP DOCUMENTS

検 閲 文 書



## 新山手病院について(1)

### 沿革

昭和14年5月 秩父宮妃殿下を總裁に仰ぎ、結核予防会設立  
 昭和14年9月 保生園 開園 (214床)  
 昭和31年11月 第一生命、東京ガス、第一銀行をはじめ七つの  
 委託兼養病棟設置 (490床)  
 昭和46年10月 保生園を保生園病院と改称  
 平成元年5月 本館改修 (122床)、新館 (98床)となり、そのうち  
 結核病棟は73床

## 新山手病院(2)

平成元年6月 保生園病院を新山手病院に改称  
 平成6年5月 秩父宮妃殿下を名譽総裁、秩父宮妃殿下を  
 總裁に仰ぎ、推戴式が行われる  
 平成6年11月 許可病棟を199床に変更、そのうち結核病棟61床  
 平成8年4月 許可病棟を159床に変更、そのうち結核病棟61床  
 平成10年11月 許可病棟を138床に変更、そのうち結核病棟40床  
 平成11年12月 介護老人介護施設「保生の森」開設  
 平成16年5月 循環器病センター開設。一般140床、結核40床  
 平成16年8月 結石破砕センター開設  
 平成16年11月 高齢者用デンジョン「グリー・ネスハブ」新山手」  
 開設  
 平成18年5月 歯科口腔外科センター開設

## 新山手病院(3)

平成18年11月 病棟種別変更：一般172床、結核8床  
 平成23年7月 肉腫（サルコーマ）胸部・腹部外科治療セン  
 ター、生活習慣病センター開設  
 平成24年3月 臨床医工学研究室開設  
 平成25年1月 放射線診療センター、リハビリテーションセン  
 ター開設  
 平成25年10月 本館等改修整備工事竣工  
 平成26年1月 中央館改修  
 平成26年4月 回復期リハビリテーション病棟 (16床) 開設  
 一般156床、結核8床  
 現在に至る

## 新山手病院の理念、基本方針

結核予防会の医療従事者が難病であった結核に立ち向かった情  
 熱を受け継いで

### 《理念》 正しい医療、温かな看護

### 《基本方針》

- いかに真心を込めて医療を行うかを考えよう
- 患者さんに「共感」できる心を持つよう
- 命（いのち）の大切さを自覚しよう
- 患者さんが病を治すことができる心の安らぎを得られるよ  
う全力を尽くそう

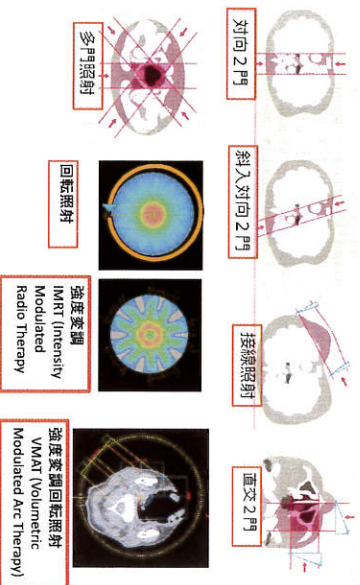
## 新山手病院の現在の特色

**高齢者社会への対応**  
 ・がんに対してVarian放射線治療システム (Clinac iX) を設置。根治治療と  
 しただけではなく、手術や抗がん剤での治療ができない場合や、がんが進行  
 した状況でも症状の緩和のための治療ができる。からだがよさしい治療法  
 ・骨折などの整形外科疾患に対する整形外科の充実  
 ・リハビリテーションセンターの開設、回復期リハビリテーション病棟の開設

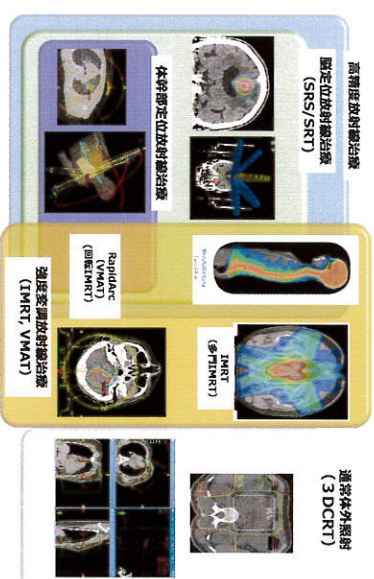
### 難病の肉腫に対応

・治療法の確立していない肉腫に対して、全国組織のサルコーマボードの  
 一員として、肉腫（サルコーマ）胸部・腹部外科治療センターを設立。全国  
 から患者さんを受け入れて手術を中心にした治療を行っている。

## 多彩な治療方法が可能



## 多彩な放射線治療方法が可能



# 新山手病院における 結核治療の現状

結核予防会新山手病院  
呼吸器科 井上ゆづる



昭和 28年

平成 24年

死亡原因の 第5位

- 1位 脳血管系疾患
- 2位 悪性新生物
- 3位 老衰
- 4位 肺炎もしくは気管支炎

5位 **全結核** 人口10万人あたり **66.5人** (57,849 人/年) → **27位 1.7人**

6位 心疾患  
7位 胃腸炎  
結核患者 推計数 **292 万人**  
(人口の3.4%)

(結核の死亡率 最大 **大正7年** 人口10万人あたり **257.1人**)



「七瀬山病院」

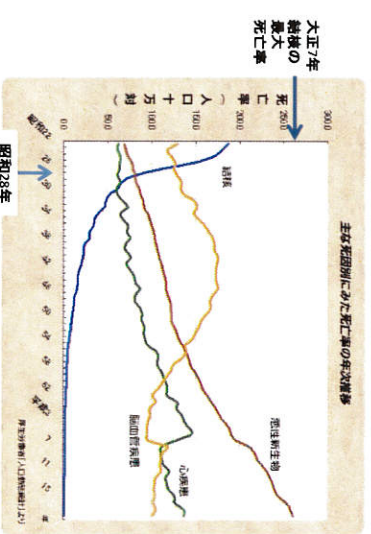
時代設定 1953年 (昭和28年)

結核で入院中のお母さんのために、引越してきた  
軍醫家。

この当時の結核の状況は？

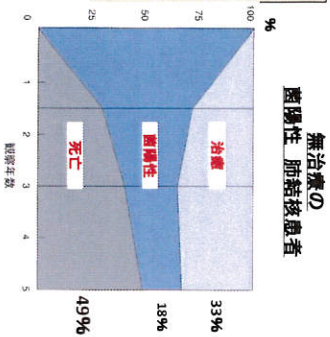
この当時の結核の治療は？

結核治療の変遷は？



**日本の結核治療の変遷 戦前・戦中について**

大正13年	リンゴン療法
大正15年	一般療法
昭和2年	サリチン療法
昭和5年	人工気胸
昭和8年	無菌食療法
昭和9年	高熱療法
昭和12年	高熱療法
昭和13年	高熱療法
昭和17年	空洞吸引療法



**内科的治療**

**日本の結核治療法の変遷 戦後について**

昭和22年	外科療法
昭和25年	ストロプトマイシン療法
昭和26年	肺切除
昭和28年	肺区域切除

昭和24年2月  
マフィカからストロプトマイシン  
5000人分輸入

昭和25年  
ストロプトマイシン、PASの国内生産開始。  
イソニアジド(通称ヒトラ)認可。

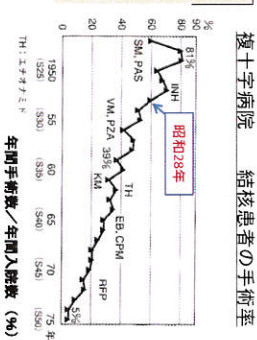
昭和27年  
ストロプトマイシン + PAS  
40-120日を一統治療とする公示。

治療 6ヶ月目の菌陰性率 56.8 %  
→ ただし再発率は高い

**外科的治療**

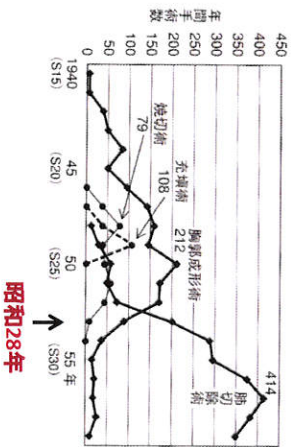
**日本の結核治療法の変遷 戦後について**

昭和22年	外科療法
昭和25年	ストロプトマイシン療法
昭和26年	肺切除
昭和28年	肺区域切除



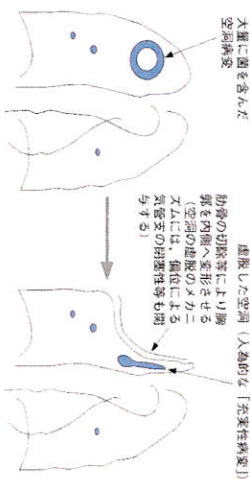
昭和28年の保生園 (214床)  
年間手術数 262人 / 年間入院数 390人  
→ 67% の患者が手術 (肺切除・区域切除)

**国立療養所 東京病院 における 結核外科療法の様式**



患者の感染力での抑え外に失敗。菌量 10,000倍!

**胸廓成形術**



**とよりのトコロにでぐるお母さんの医療費の支払いは?**

第55表 各都道府県別結核医療費 (概数値)

区 分	医療機関別医療費 (円)	国民健康保険医療費 (円)	国民年金医療費 (円)	国民生活保護医療費 (円)	国民健康保険医療費 (円)	国民年金医療費 (円)	国民生活保護医療費 (円)
I. 公費負担分	24,889	68.5	17,266	72.1	12,641	12,641	12,641
1. 医療費負担分	21,292	64.5	13,723	58.4	12,279	12,279	12,279
2. 負担割合率 (%)	3,102	100.0	3,102	100.0	3,102	100.0	3,102
3. 負担割合率 (%)	432	90.0	399	92.0	399	92.0	399
II. 医療費負担分	100,174	27.9	28,752	70.1	20,143	20,143	20,143
1. 医療費負担分	85,142	30.7	26,122	71.9	18,782	18,782	18,782
2. 負担割合率 (%)	35,674	32.3	11,323	68.4	7,889	7,889	7,889
3. 負担割合率 (%)	25,127	30.7	7,719	72.5	5,399	5,399	5,399
III. 国民健康保険医療費	1,525	19.0	257	36.3	155	155	155
1. 国民健康保険医療費	1,469	19.0	257	36.3	155	155	155
2. 国民健康保険医療費	19,424	21.3	6,081	78.9	4,707	89	89
3. 国民健康保険医療費	376	41.4	108	57.3	1,383	1,383	1,383
4. 国民健康保険医療費	15,724	16.7	2,652	31.7	1,383	1,383	1,383
5. 国民健康保険医療費	4,270	—	—	—	—	—	—
IV. 国民生活保護医療費	85,301	15.9	13,200	34.2	3,200	3,200	3,200
国民生活保護医療費	213,428	27.4	59,241	60.7	38,984	38,984	38,984

国民健康保険制度は昭和35年から  
国民年金医療費は昭和35年から  
国民生活保護医療費は昭和31年度版

## 日本の結核の平均入院期間

昭和30年 383 日

平成22年 71 日

## 現在の治療は？



昭和28年当時の、  
どなりのトロロにでてる草壁家のお母さん

約1年入院

ストリプトマイシンの供給量が  
足りなかったが...

PAS + ストリプトマイシン

もしくは

外科治療

を行った可能性



結核病棟 8床 全室個室 トイレ・シャワー付き 陰圧換気システム





現在、日本で使用されている抗結核薬

抗結核薬	開発年	強さ
1次 抗結核薬 a		
リファンピジン	1971年	強い
イソニアジド	1952年	
ピラジナミド	1957年	
1次 抗結核薬 b		
ストロブテシン	1952年	
エタンツール	1987年	
2次 抗結核薬		
カナマイシン	1981年	弱い
エチオナジド	1963年	
エビデナゾン	1975年	
バクアミカリチル薬 (BAS)	1952年	
ウイクロセリン	1959年	
レボフロキサシン	1993年	

### 1947年 臨床試験

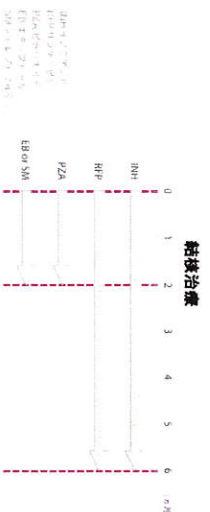
ストロブテシン単剤で治療  
42日間の治療で、85%の患者がストロブテシン耐性菌

対策：ストロブテシンと  
作用機序が異なる薬を併用する

ストロブテシン + PAS の併用治療 → 耐性菌の出現が激減

### 初回 結核治療 (薬剤感受性菌)

イソニアジド + リファンピジン + ピラジナミド +  
エタンツール (もしくは ストロブテシン)



(空薬例、異剤結核、2ヶ月治療後の菌培養陽性、糖尿病、腫瘍、腫肺、ステロイド併用、免疫抑制剤併用は3ヶ月延長)

全薬剤に感受性で、赤ちゃんと同腹で書ければ、再発率 2%程度

ピラジナミドは、80歳以上、肝不全、慢性C型肝炎には使用を控える

### 複数の抗結核薬を用いる理由

単剤での治療では、  
一定の確率で存在している耐性菌が残り増殖

(10万~100万個に1個耐性菌がいる)



多剤併用を行うことで、**耐性菌の出現を阻止**

### 現在の標準療法の効果

2日間内服：感染性は当初の10%

2~3週内服：感染性は1%以下に減弱する



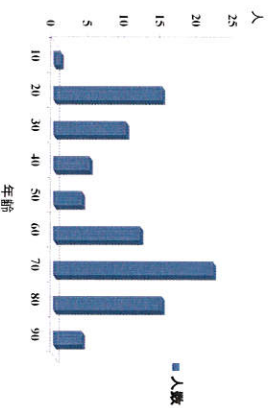
急速に感染性は減少する

1-2ヶ月後に、薬剤感受性試験が判明。

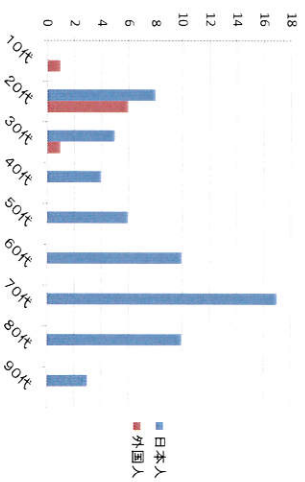
日本における抗結核薬の耐性率

薬剤	初回治療 (%)	再治療 (%)
イソニアジド	2.8	18.9
リファンピリン	1.0	11.0
エタンブトール	0.9	8.4
ストロマンテジン	7.0	14.4
ピラジナミド	データなし	データなし

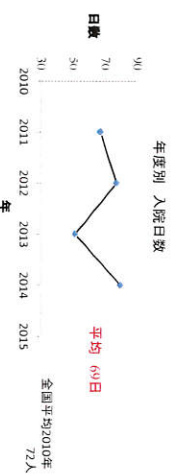
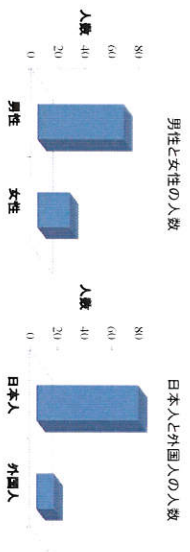
2011～2014年の4年間の入院結核患者の年齢分布



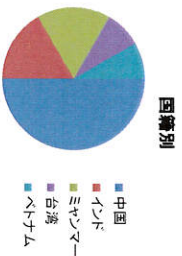
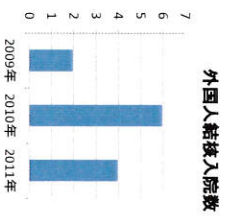
新山手病院外来年齢別結核患者数 (2011年～2014年)



新山手病院の結核患者の特徴は？



外国人肺結核



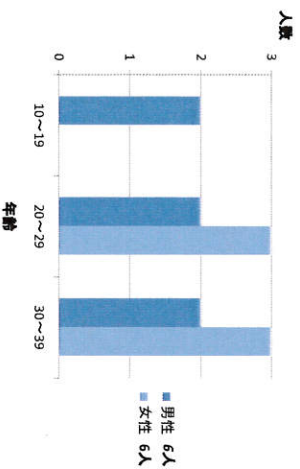
### 多剤耐性

INH,RFP,SM 1例 (ミャンマー)  
 INH,RFP 2例 (中国、台湾)

### 単剤耐性

RFP 1例 (インドネシア)  
 EVM 1例 (中国)  
 SM 1例 (中国)

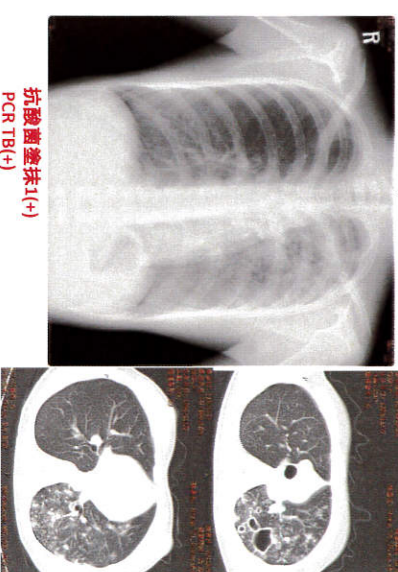
### 外国人結核患者の年齢と性別



### 【症例】 18歳 女性

出生地:台湾  
 主訴:胸部異常影  
 現病歴:専門学校入学のため2011年4月来日。  
 入学時健康診断で胸部異常陰影を指摘され、喀痰検査で抗酸菌塗抹陽性のため当院に入院した。

入院時胸部XPCT



### 経過

INH,RFP,EB,PZA → EB,PZA,LVFX,TH  
 RFP,INHに耐性

6週目で塗抹陰性となり台湾に一時帰国

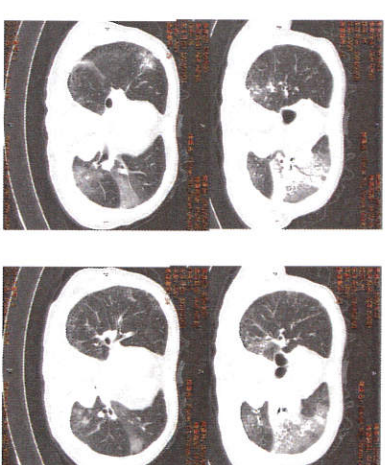
## 帰国後の治療継続について

主治医、保健所医師、保健師で台湾CDC(保健所)に連絡して、帰国後台南胸腔病院の呼吸器科医に治療を依頼した。  
台湾に帰国中は担当保健師が毎日skypeで服薬確認を行った。

DOT(direct observed treatment)

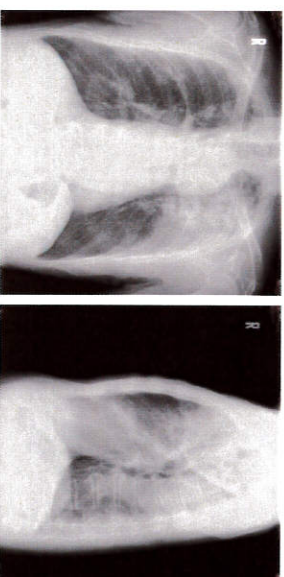
## 症例：88歳男性

主訴：咳、痰、発熱  
既往歴：なし  
家族歴：なし  
喫煙歴：なし  
現病歴：2月に頭痛、微熱のため近医を受診したが異常ないと言われた。  
4月23日より発熱が続き、咳、痰も認め近医を受診した。胸部写真で肺炎を認め当院に紹介入院した。



喀痰検査で 塗抹抗酸菌陽性 TB-PCR(+)

## 入院時胸部XP



## 高齢者の結核

### 高齢者結核の特徴

- ・ 高齢者における結核性肺炎は細菌性肺炎と区別しがたい画像所見を呈することが多い。
- ・ 細菌性肺炎として治療され、画像所見が悪化することもあるが、シスプレトリーキノロンが投与されると画像所見は改善するため、診断の遅れにつながることもある。
- ・ 高齢者の肺炎を見た場合常に肺結核を念頭に置かなければならない。

症例: 67歳男性

主訴: 呼吸困難

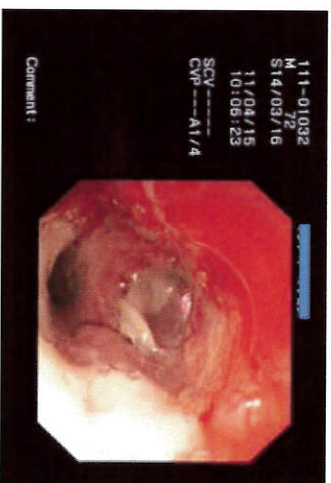
既往歴: なし

現病歴: 1999年より気管支喘息のため当院にて、吸入ステロイドを中心に治療していたが、時々喘息発作のためサクソニン、テオドリックを外来で点滴していた。

2009年7月よりクローン病のため他医にてレミケードを投与されていた。定期的に胸部XPIは撮影していたが、当院主治医には伝えていなかった。

2010年8月より微熱、起床時に痰が多くなっていた。喘息発作のため2週に1回ぐらいの頻度で外来受診し、テオドリック、サクソニンを点滴投与されていたが改善はなかった。

2011年2月28日に呼吸困難のため救急搬送された。救急車到着時sPO2 82だった。

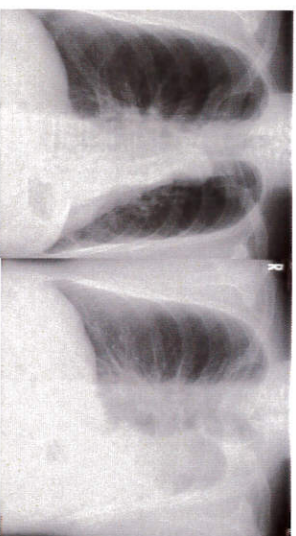
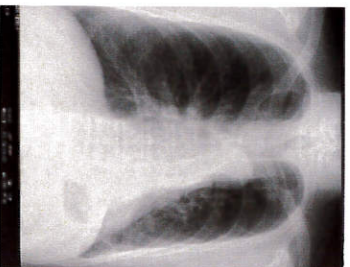
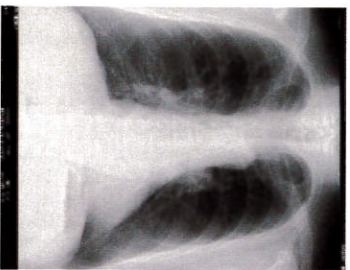


111-01032  
M 72  
11/08/15  
16:08:23  
SCV ---A1/4  
CVP ---A1/4  
Comment:

RA 全例市販後調査における重要な感染症の発現頻度

	レボフロキサシ ン	エタネルセブ ト	ラモリムマブ	トリスマブ	ラバセプト
症例数	5,000	13,894	7,740	7,901	3,985
肺炎 (%)	2.2	1.3	1.3	1.5	0.7
結核 (%)	0.28	0.07	0.1	0.05	0.03
PCR (%)	0.44	0.18	0.3	0.2	0.1
NITM (%)	0.14	0.12	0.1	0.2	0.05
帯状疱疹 (%)	0.34	0.81	0.7	1.1	N.D.

PCR: Pneumocystis pneumonia, NITM: non-tuberculous mycobacteria  
(各薬剤の適正使用情報より書きか作成)



入院期間の問題点

1959年 インド マダガス(現在のマダガスカル)  
臨床試験



治療: **イソニアジド + PAS**  
薬剤感受性患者  
70%の患者は空洞形成

- ① サナトリウムで治療
  - ② 自宅で治療
- に分けて、  
家族への感染の観察。

2006年 感染症法に結核予防法が統合  
平成19年(2007年)9月7日 感染症第0907001号  
厚生労働省健康局 結核感染症課長通知

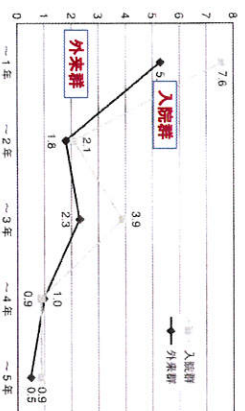
結核の退院させることができる基準: 以下のア、イ、ウを全て満たした場合。

ア、2週間以上の標準的化学療法が実施され、咳、発熱、痰等の**臨床症状が消失**。

イ、2週間以上の標準的化学療法が実施後の異なった日の居家の**塗抹検査**または培養検査の結果が連続して**3回陰性**。

ウ、患者が治療の継続及び感染拡大防止の**重要性を理解し**、かつ、退院後の治療の継続及び**他者への感染の防止が可能**であると確認できている。

入院群と外来群の家族の結核患者発生状況



家族内発症には差がなかった!

新山手病院における結核治療の現状

- 1 高齢者結核の増加
- 2 外国人の多剤耐性結核
- 3 結核診断の遅れによる重症化

# 元結核患者 最後の集い

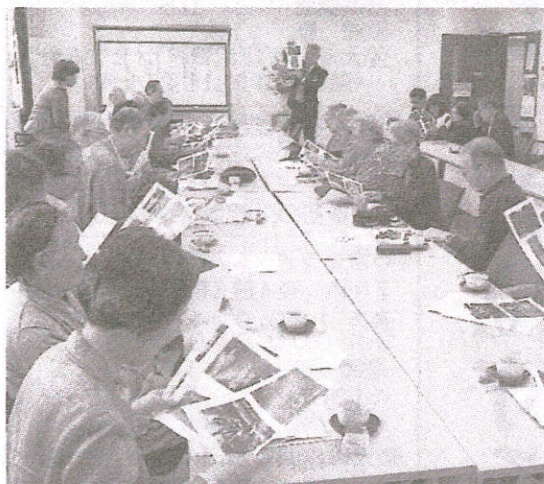
かつて年間死亡者が10万人を超え、「国民病」と恐れられた結核。全国に国や民間の療養所(サナトリウム)が設けられ、多くの患者が治療を受けた。1950年代後半以降、患者数は激減。このほど、東村山市にあった療養所の退院者の会が最後の総会を開いた。



昭和30年代の保生園の病室。映画「となりのトトロ」で、主人公サツキとメイの母が入院していた病院のモデルとされる。新山手病院提供

「トトロ」のモデル 東村山の療養所

## 退院者の会 高齢・会員減



最後の総会で配られたかつての療養所の写真を見る保生会員たち=東村山市の新山手病院

狭山丘陵のふもと、新山手病院の会議室に9日、約20人が集まった。病院の前身、結核療養所「保生園」退院者でつくる「保生会」の75回目の総会だ。出席者の大半が70代後半から80代。50年代後半から60年代初めごろにかけての若い時代に、入院や治療をした人たちだ。

アニメ映画「となりのトトロ」(1988年)で主人公サツキとメイ姉妹の母が入院する病院のモデルは、保生園とされる。制作当時、宮崎駿監督が古い木造病棟が残っていた同園を訪れ、取材したという。「みなさんは結核との闘

いで生き残ったエリートです」。保生会の10代目会長、大場昇さん(67)が語りかけた。大場さんは27歳で入院。片肺の切除手術を受けるなど約10年の療養生活を送った。

保生園は財団法人結核予防会が39年に設立した。50年代ごろ、約5000の病床は常にいっぱいだった。年間約1千人が入院、約500人が死亡した。退院者を追跡調査して再発防止を図ろうと、病院側が呼びかけ、保生会は55年に発足した。

入院患者の会はほかの療養所にもあったが、退院者の会ができたのは保生園だけだという。年2回の総会の折に受けた健康診断で再発や異状が見つかり、再入院した人も数多い。

最盛時の会員数は約7千人。作家の藤沢周平(1927-97)も会員だった。50年代後半以降、ストレプトマイシンなど特效薬の普及や栄養状態の改善により、結核患者は急減した。

病院は89年、新山手病院と改称。現在、結核病床は8床だけに。保生会への入会者も絶え、会員数は約1千人。年1回になった総会への出席者も減り、今回を最後とすることになった。

「忌み嫌われた結核のこ

とを誰にも話せず、疎外感のあった私たちにとって会には孤独を癒やしてくれる場だった」。最年少の大場さ

んが元気なうちに暮を閉じること、自然消滅を避けたかったという。

(鬼頭恒成)